

口腔再生インプラント学入門（黒田真司）

Introduction to Regenerative Implant Dentistry (Shinji KURODA)

キーワード

- ① 口腔インプラント
- ② 欠損補綴
- ③ 診断学
- ④ 骨再生
- ⑤ 身体バランス

関連する学位授与方針

- ①
- ②
- ④
- ⑤

関連する教育実施方針

- ①
- ②
- ⑤
- ⑥

授業概要

欠損補綴には床義歯補綴や冠橋義歯補綴に加え、21世紀に入って口腔インプラントがようやく一つの学問体系として欠損補綴学として築かれてきた。口腔インプラントは多岐に渡る知識と技能、つまり材料学、解剖・組織学、生理学、生化学、薬理学、また口腔外科学、歯周病学、口腔衛生学、放射線学を幅広く習得することが必要であり、生体組織と生体材料を調和させることで口腔機能および審美を回復させ、それを維持することが重要である。それが「診断学」であり、それを解説する。

授業科目の学修目標

1 口腔単位で研究結果や科学的判断に基づいた診察・検査・診断の重要性から、治療計画を立案する能力があり、国内外で歯科補綴をリードする臨床を踏まえた研究者（Clinician Scientist）を育成すること。

授業計画

- ① 口腔インプラントの意義と基本的事項
 - ・口腔インプラントの歴史と変遷 4コマ 黒田真司
 - ・口腔インプラントの外科治療 4コマ 黒田真司
 - ・口腔インプラントの補綴治療 4コマ 黒田真司
 - ・デジタルデンティストリー 2コマ 黒田真司
- ② 口腔インプラントの倫理指針 2コマ 黒田真司
- ③ 口腔インプラントの必要性およびこれからの研究の視点
 - ・骨再生と体性幹細胞 4コマ 黒田真司
 - ・リスク 4コマ 黒田真司
 - ・口腔インプラントと超高齢社会 4コマ 黒田真司
 - ・口腔インプラントの立ち位置 2コマ 黒田真司

教科書および参考書

よくわかる口腔インプラント学 第4版 医歯薬出版 (教科書)
骨再生に強くなる本 クインテッセンス出版 (参考書)
ここまでできる！スポーツ歯学から 第一歯科出版 (参考書)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯学部卒業レベルの予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読し、その内容を理解する能力が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 口腔インプラントの意義と基本的事項を説明できる。
- ② 口腔インプラントの倫理規範を理解し、応用できる。
- ③ 口腔インプラントの必要性およびこれからの研究の視点を理解し、吟味できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
50%	0%	20%	0%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回50%
- ・レポートは、口腔再生インプラント学的な研究の視点の4項目を選択しその課題を提出する。5%×4回=20%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、倫理的な事項に関しては100%の理解を求める。